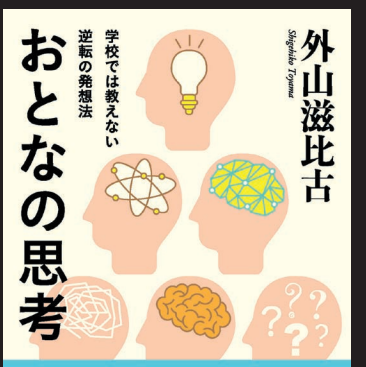


リベラル文庫 学校では教えない逆転の発想法
6月発売
おとなの思考
 [著者] 外山滋比古
 定価：720円+税／文庫版／モノクロ・192ページ



東大生のバイブル!!
 『思考の整理学』
 270万部突破
 の著者による「考えかた」の基本。
 生活の中で、汗を流して、体で考えよ! 〔リベラル文庫 5〕

やさしい語り口で 常識の盲点をつくエッセイ

ぼんやり生活するな 考えながら生きていこう

現代人は知識過多の知的メタボリック症候群。知識が増えすぎると、自分でものごとを考える力を失ってしまう。余計な知識は忘れて、考えることが大人の思想の基本だ。外山滋比古が語る逆転の思想と発想のヒント。

「知の巨匠」と称される著者が「知識」よりも「考えること」の大切さを語った本!!

[著者] 外山滋比古

1923年愛知県生れ。英文学者、文学博士、評論家、エッセイスト。東京文理科大学英文学科卒業後、同大学特別研修生修了。'51(昭和26)年より、雑誌「英語青年」(現・web英語青年)編集長となる。その後、東京教育大学助教授、お茶の水女子大学教授を務め、'89(平成元)年、同大名誉教授。専門の英文学に始まり、思考、日本語論の分野で活躍を続け、その存在は、「知の巨匠」と称される。著書に、およそ30年にわたりベストセラーとして読み継がれている『思考の整理学』(筑摩書房)をはじめ、ベストセラー多数。2020年永眠。

主な内容 ※現在制作中のため、内容やデザインが変わる場合がございます。

- 近すぎるから問題が起きる
- 知恵を詰め込みすぎるバカ
- 病気になると、より健康になる
- 忘れることは頭をよくすること
- ことばは不老長寿、美容の妙薬
- 根本のところは”体で考える”
- 人生は自分という雑誌を編集し続けること etc…

- 第1章 大人の思考
- 第2章 知的生活再考
- 第3章 ライフワークの思考
- 第4章 島国考

※本書は2015年に新講社より発行した『大人の思想』を改題し、再構成し文庫化したものです。

手配の都合上、_____までにご返送いただきますようお願いいたします。

番線	学校では教えない逆転の発想法 おとなの思考 [リベラル文庫] 外山滋比古 [著]	冊	拡大	A3パネル 30冊以上 () 枚希望	POP (ハガキ1/2サイズ) 7冊以上 () 枚希望
	定価:720円+税／文庫版／モノクロ・192ページ 発行:リベラル社 発売:星雲社 ISBN 978-4-434-32239-6			A4パネル 20冊以上 () 枚希望	テーブル (40cm×50cm) 50冊以上 希望(する・しない)
ご注文日: _____年 _____月 _____日			ご注文者様名: _____様		

※弊社は取次委託配本を行っていないため、ご注文いただかなければ配本はございません。ご注意ください。
 ※冊数は減数させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご注文はこちら ➡ **リベラル社 FAX 078-958-5581**

